

## 日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本肝臓学会  
理事長 竹原 徹郎

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。
  - a. 特に学術的に重要と考えられるもの  
肝臓学の発展と肝臓病診療の普及。
  - b. 当該領域における国際的な役割  
米国肝臓病学会 (AASLD)、欧州肝臓学会 (EASL) と、毎年双方向性の共同シンポジウムを開催するなど、海外最大の肝臓に関する学術団体に対する日本で唯一のパートナー学会を務めている。
  - c. 活動からもたらされる社会的な意義  
肝臓病診療の普及と市民啓発に努めることにより、国の定めた「肝炎対策基本法」の精神の具現化に努めている。
  - d. 学会運営上留意している点  
若手の育成と女性活躍の推進。国際化。
- II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。  
新専門医制度に関して、日本内科学会、日本消化器病学会、日本内視鏡学会と密接に連携して対応している。  
日本消化器病学会と共同で複数の診療ガイドラインを作成している。